請　願　文　書　表　（平成２８年９月２日定例会提出）

請願第１８号
　横井町山林への新斎苑建設に反対する請願書（市民環境委員会付託）

平成２８年８月２２日受理

請 願 者　●●●●●●●●●●●●●●●●
横井東町自治会長
土　田　博　一　外２名
紹介議員　森　田　一　成

要旨
　横井町山林に新斎苑を建設することに反対。

理由
　今や奈良市民の多くが現在の火葬場が老朽化し早急に新設しなければならないことは理解している。
　新斎苑の建設については、市民にとって必要かつ重要な施設であり、市全体のまちづくりとして計画し、市街地からの交通アクセスも十分に考慮した場所に建設するべきである。
　横井町山林への新斎苑の建設は平成１９年度末に計画されたが、一旦白紙に戻され再び候補地とされた。市長はなぜこの場所にこだわるのか。この財政事情の厳しい時世にわざわざ用地を取得しなくても市内に多くある市有地を活用できないのか。現計画では岩井川に橋梁をかけて施設をつくるとなっているが、アクセス道路もない危険なところに新斎苑をつくるべきではない。当該地へのアクセスに橋梁をかけ施設を建設するなど危険極まりない。
　かつてこの場所は昭和５０年代に岩井川ダムの建設場所として約１０年間にわたり地盤調査等がされ、その結果、土砂崩れ等の危険性と「山が動いている」との結論から、約５００メートル東方の現在地に計画変更された経緯がある。このことが当該地の危険性を十分に示している。
　また、当該山林の一部は保安林に指定されており、施設の建設には不向きである。指定を解除してまで行政が建設を進めようとしている。
　市民の安心・安全を第一に行政を推進する立場にあるべき市長が、みずからこのような岩井川ダムの建設予定地が変更された経緯や、当該山林が大和青垣国定公園内に位置し、さらに保安林であることをわかりながら、事業を計画することはあまりにも危険であり無謀である。
　横井東町の地元住民の意見に対しても聞く耳を持たない姿勢は市長の短絡的かつ思いつき行政にしか見えず、その手法に対する不信感がますます強くなる一方である。
　横井町での新斎苑建設には反対する。

　よって上記請願いたします。